

報告第 1 号

西宮市都市計画マスタープラン骨子について【報告】

目 次

1. 説明会の開催結果について……………	P. 1
2. 閲覧・意見募集の結果について……………	P. 2
3. 意見の概要及び市の考え方について……………	P. 2
4. 素案の作成について……………	P. 17
5. 今後のスケジュール案……………	P. 17

(資料1) 西宮市都市計画マスタープラン骨子

1. 説明会の開催結果について

(1) 実施概要

意見募集期間中に、市内3か所においてオープンハウス形式のパネル展示による説明会を実施した。会場には、職員が常駐し、質問事項等については、必要に応じて適宜対応した。

(2) 展示内容

以下の内容の展示を行った。

展示①：序章・第1章 まちづくり・都市計画の変遷、都市計画マスタープランについて

展示②：第2章 都市の現状、都市づくりの主要課題、パネルアンケート

展示③：第3章 都市づくりの方向性、パネルアンケート

(3) 実施結果

3会場における説明会の実施結果は下記の通りとなった。

場所	日時	来場者数
大学交流センター(大講義室)※アクタ西宮東館6階	8月6日(土) 11時~17時	40名
山口公民館(第2・3集会室)	8月10日(水) 16時~20時	8名
市役所東館701会議室	8月15日(月) 10時~17時	6名
		3会場合計 54名

会場の様子(アクタ西宮)



2. 閲覧・意見募集の結果について

(1) 閲覧・意見募集の実施状況

令和4年7月25日から8月25日にかけて都市計画マスタープラン骨子案に係る閲覧・意見募集を行った。

閲覧・意見募集にあたっては、7月25日号の市政ニュースにあわせて、市内全戸に広報紙を配布したほか、ホームページ上に公開し、周知を図った。

(2) 閲覧・意見募集の結果

閲覧・意見募集の結果は、下記の通りとなった。

窓口閲覧者数：0名

HPアクセス件数：2,129件

意見提出者数：25名

意見件数：52件

3. 意見の概要及び市の考え方について

(1) 意見分類について

提出された意見については、骨子案の都市づくりの取組分野ごとに意見を分類し、集計している。

都市計画の取組みと関連性が低い意見については、その他に分類し、集計している。

分類	件数
土地利用に関する事項	7
都市施設に関する事項	18
市街地整備に関する事項	8
安全安心な都市づくりに関する事項	3
西宮らしい豊かな都市づくりに関する事項	8
地域力がはぐくむ都市づくりに関する事項	3
その他（上記に分類されない事項）	5

(2) 市の考え方に基づく回答分類について

意見に対する市の考え方に基づき、回答を分類しており、今回の意見募集の結果、骨子案の修正は行わないこととする。

なお、今回の意見募集では、具体的な取組・施策等のご提案を多数いただいております。骨子案の方向性に合致し、素案において参考すべき事項については、意見の趣旨を踏まえた基本構想の策定を検討する。また、市政に対するご意見で、その他都市計画マスタープランに関係性が低いご意見については、関係課へ情報共有のうえ、今後の参考意見とさせていただくこととしています。

回答分類		件数
①	骨子案のとおりとする	0
②	骨子案に反映済み	1
③	骨子案を修正する	0
④	素案を作成する際の参考意見とする	19
⑤	その他意見（今後の市政の参考とする）	32

(3) 意見の概要と市の考え方について

番号	意見分類	意見の概要	市の考え方	分類
1	土地利用に関する事項	都市のスポンジ化の進行、空き家対策→南部の住宅密集地は防災空き地として利用する。	本市においては、都市のスポンジ化が顕在化している状況ではありませんが、人口についてはすでに減少に転じており、今後、世帯数の減少が予測されていることを踏まえ、空き家問題については第二次西宮市空家等対策計画に基づき対策を進めていきます。	⑤
2	土地利用に関する事項	工場の閉鎖→広大な敷地を事業者任せにしない。 近接空間にマンションが建設されると、税収増にはなるが、一時的であるにせよ学校が生徒数増加して、プレハブ建設せねばならぬとなり費用もかかる。また、マンションであれば、その敷地内に緑樹帯を設けてもらいその維持管理は事業者で行ってもらうことで、市の公園管理負担が減る。	本市では、市要綱に基づき、教育環境を保全するための住宅開発抑制について、事業者と協力を要請しており、今後も、将来の児童数推計等を踏まえ、必要に応じて、教育環境の保全に向けた取組を進めていきます。 工場など大規模敷地において土地利用転換が行われる場合には、開発許可制度やまちづくり条例等により、必要な公共施設の整備や敷地内の緑化等を求めるとともに、地区計画の指定などにより、良好な市街地環境の形成や民間敷地における緑地・歩道状空地などの公共空地の確保に努めます。	④
3	土地利用に関する事項	大規模集客施設の抑制→これからの高齢者はネット通販に慣れている。ネットで物を買う時代になる。 また、近接空間に大規模集客施設ができると、古い方が必ず廃れる。	本市では、用途地域や商業立地ガイドライン等により、大規模収容施設の立地できるエリアを限定しています。 今後も商業施設等の立地については、都市核などの地域の位置付けを踏まえた土地利用規制となるように、適切に運用していきます。	④
4	土地利用に関する事項	小松商店街の活性化 小松商店街は、以前は駄菓子屋、玩具屋、理容店、飲食店等の様々な種類の店舗が並んでいたが、現在はシャッター通りでもなく住宅街となっている。活気のある商店街は魅力的で、また地元住民並びに市外住民関係なく人を惹きつける。現在も何店舗かの飲食店等が営業をしている。是非とも、彼らが盛り上げてくれている小松商店街の火種を絶やさず、神戸市、尼崎市などの周辺地域の大きな商店街に負けない、魅力的な小松商店街となるように出店補助・スタートアップ・アーケード整備などの商店街機能の強化を地元商店街と協同して行っていただきたいです。	本市では、用途地域や商業立地ガイドライン等により、地域特性に応じた商業の立地・誘導を図っています。 商店街の活性化については、商店街等が商業活性化のために取り組むイベントや、設備の改修等に対する補助を県と協調して実施しています。また、新たに商店街で起業する方に対する新規出店経費の補助や、西宮商工会議所と連携した起業前後の切れ目のない支援を実施しています。 活気ある魅力的な商店街となるためには、商店街の主体的な取り組みが必須となりますので、様々な支援メニューの周知を通じ、商店街の奮起を促すよう努めます。	⑤
5	土地利用に関する事項	通学路にラブホテルは困る→そういう体験した、特に女子学生は結婚後西宮市に住まないことが多い。	本市では、市条例により、通学路や教育文化施設からの距離制限を設け、旅館業やラブホテルなどの店舗型性風俗特殊営業等に該当する施設の新たな立地を規制しています。	⑤

番号	意見分類	意見の概要	市の考え方	分類
6	土地利用に関する事項	<p>高齢化の対応について</p> <p>市内南部地域の北部は、坂が多く、道も狭く複雑です。若い時は、住居環境として良かったが今や住みづらくなっています。危険な空家も在り対応される様子はありません。ますますこういう空家が増え、住民が更新される見込みもないと思います。こういう空家には、敷地内に高木が伸び放題で、何かあれば危険です。</p> <p>さらに、低層住宅だけならまだ良いが、中高層住宅が近い将来どうなるでしょうか。甲陽園、五月ヶ丘、神原、神園、上ヶ原 辺り 他住居地域の見直しをすべきかと考えます。</p> <p>さらに、車依存の地域では、ますます住みにくくなると思います。これ以上の人口は不要です。</p>	<p>本市の南部地域は瀬戸内海に面した平野部から六甲山に向けた丘陵地が広がっており、南部地域の中においても空家が持つ属性に地域による特色が出ていることを踏まえ、空き家問題については、第二次西宮市空家等対策計画に基づき、対策を進めていきます。</p> <p>今後の人口推計や社会情勢を踏まえ、住宅地の適正な規模や土地利用のあり方について検討し、必要に応じて区域区分・用途地域等の見直しを行います。</p> <p>高齢者の移動手段の確保については、本市としても重要な課題であり、地形高低差の大きい公共交通不便地域において地域の方が主体となって取り組むコミュニティ交通の導入に対する支援など、地域公共交通の確保を図るとともに公共交通機関の利用促進に向けた取組を進めていきます。</p>	④
7	土地利用に関する事項	<p>所有地は市街化区域で市街化調整区域の境界にあります。以前よりこの不自然な線引きには疑問をもっておりましたが、特段、気にしておりませんでした。最近税務上の手続きでこの線引きによって、形状、立地、環境など全く変わらない隣地山林と固定資産税(山林部分)の評価額に差があることをしり、この線引きとは何なのかと調べていくなかで「西宮市マスタープラン骨子」を知り、線引きの概要を拝見しこの不自然な線引きについての疑問が大きくなりました。</p> <p>市役所の都市計画課の資料で、所有地付近の線引きは当初から変わっておりませんでした。自宅敷地西側は市街化区域とされていますが、「市街化地域」とは、すでに市街地を形成している区域と、おおむね10年以内に優先的かつ計画的に市街化を図るべき区域とされています。2013年にこの土地を所有しましたが、その間、市街化区域の環境は一つ変わっておらず、それ以前にも、市街化などすすんではいけません、急傾斜地で造成することは不可能に近いとおもわれます、それに加え、土砂災害区域にもなっております。線引きは今まで数回見直されているようですが、大きな災害がおこるなか、これまで、見直しの対象にならなかったことにも疑問を覚えます。</p> <p>無秩序な市街化を防止し、災害のない街づくりのためにも、この地域の線引きの見直しを検討していただきたく意見書を提出いたしました。</p>	<p>今後の人口減少や市街化区域内の土地利用状況を踏まえると、これ以上市街化区域を拡大する方針はありません。</p> <p>一方で、本市の市街化区域の人口密度は高い水準にあり、積極的に市街化調整区域への編入を進める状況ではないことから、市街化調整区域への編入については、今後、災害の危険性のある地域等で、土地所有者の要望があるなど一定の合意形成がなされた地域において、実施を検討しています。</p> <p>いただいたご意見も踏まえ今後の区域区分の見直しの参考とさせていただきます。</p>	④

番号	意見分類	意見の概要	市の考え方	分類
8	都市施設に関する事項	アサヒビール工場跡地に阪急・阪神今津線があります。 そこで、JR線横に、ホーム・駅を作る事により3線つながります。 今、作らなかつたら、この後、100年以上も不便のままになります。 今、この土地があるからチャンス!なのです。	ご提案の土地については、すでに県市統合病院や公園などの整備が決まっており、駅の設置の予定はありません。	⑤
9	都市施設に関する事項	交通環境、移動環境について 甲子園開催日に公共施設の駐車場が満杯になっているなど、自動車中心の生活圏であるが故の課題についても解決してもらいたい。と感じています。渋滞、駐車場不足は日常生活する上でも常々感じています(特定のエリアに交通量が偏っているのでしょうか)。 都市の強みとして、電気鉄道沿線の至便性について述べられましたが、その点は、日常生活においては全く逆(西宮市民の生活利用において市内鉄道を使用するのはレジャーの際など限定的ではないでしょうか)です。とくに西宮北口等の沿線付近の住居でない場合は、通常自動車移動による生活が多いでしょうし、徒歩圏で生活しようと思っても生活必需品を揃えるのに必要な商業施設は揃いきっていないと感じています。 ウォークアブルシティは徒歩15分圏内での生活圏で完備される、ということも聞きますし、今後の人口減少社会や脱炭素社会の中でそのような都市を目指してほしいと感じますし、そのためには区域ごとの特性も配慮した交通計画や環境開発を行ってほしいと考えています。昨今、スマートシティの議論も多く感じますが、交通・移動環境についてはそれらのような先端事例も参考にしながら、まちづくりに生かされるのはいかかと思いました。	第5回近畿圏パーソントリップ調査の結果より、本市の日常生活圏内の移動においては、徒歩・自転車が主体、標高差の大きい地域においては自動車が徒歩・自転車に代わる交通手段となっている傾向があります。また、中心市街地への移動においては、自動車による移動の割合が多くなる傾向にあるため、適切な駐車場の整備と活用、公共交通の利用促進などを進める方針としています。 徒歩15分圏内に生活利便施設等を完備することは困難であると考えていますが、徒歩・自転車・公共交通など自動車に依存せずに生活利便施設にアクセスできる環境を引き続き維持・向上していくことは重要な課題であり、誰もが暮らしやすいコンパクトな都市構造を維持・誘導するための取組を引き続き進めていきます。	④
10	都市施設に関する事項	阪急電車の門戸厄神駅と甲東園駅の高架化を希望します。歩行、自動車で東西の移動がしにくく、踏切に集中するため、通学通勤時は特に危険です。	鉄道の立体交差事業は、現在、阪急神戸線で、事業実施の検討を行っていますが、多大な費用と時間を要する事業であることから、他の路線において実施の検討には至っていません。 いただきましたご意見は、長期的な課題として参考にさせていただきます。	⑤
11	都市施設に関する事項	南部海岸地区と北中部とのバス路線が乏しいと考えます。ひとつの案ですが、さくらやまなみバスを西宮北口に行かすのではなく、ヨットハーバーや人工島に行かせると、利便性が良くなると思います。理由としては、夙川駅-西北駅までは、阪急が便利につないでいますが、そこをバスにするのはもったいないです。乗車率も低くなっていると思います。	さくらやまなみバスは、鉄道駅の無い山口地域と南部市街地を直接連絡するためのバス路線であるため、阪急西宮北口駅を起終点として、各電鉄の主要駅を経由して運行しています。南部海岸地区と北中部間のアクセスについては、路線バスを利用いただくことを想定しておりますが、バス事業者との協議等により、乗継・乗換の利便性向上に努めます。	⑤

番号	意見分類	意見の概要	市の考え方	分類
12	都市施設に関する事項	西宮は斜面住宅が多く、ラストワンマイルを楽にする施策が必須。電動バイクのシェア制度を作るアイデアはいかが。それも運転できない高齢者にはスマホによる乗り合い自家用車なども	地形高低差の大きい公共交通不便地域においては、地域の方が主体となって取り組むコミュニティ交通の導入に対する支援など、地域公共交通の確保を図るとともに公共交通機関の利用促進に向けた取組を進めていきます。 また、自動車よりコンパクトで小回りが利くマイクロモビリティの導入等についても調査検討に努めます。	④
13	都市施設に関する事項	高齢化による免許返納件数が増えるため、公共交通網の維持につとめ、さくらやまなみバスの充実をはかる。	公共交通を中心に持続可能で誰もが暮らしやすい都市空間を維持・誘導することの重要性は認識しているところです。 交通事業者と継続的に協議するとともに、さくらやまなみバスについては運行計画の見直しや継続的な利用促進策の実施に努めます。	④
14	都市施設に関する事項	P27 の都市計画道路の未整備に載ってないが、普段渋滞と住民の危い道路でぜひ拡幅してほしい所を要望。 大沢西宮線から毘沙門町に右左折する車が非常に多く、この交差点は慢性的に渋滞の種類になってます。せめて右折レーンの整備を。そして毘沙門町の住宅街を直線で上り下りする事は非常にスピード高く、かつ、すれちがいが困難。拡幅して安全に都市計画道路にしてほしい。	新たに区画街路（地区内の移動で使う小規模な道路）を都市計画道路として決定し、整備する予定はありませんが、いただいたご意見は今後の安全対策等の参考とさせていただきます。 なお、大沢西宮線については、県道となるため、いただいたご意見を兵庫県にお伝えいたします。	⑤
15	都市施設に関する事項	地域・地権者に説明もなく一方的に廃止された都市計画道路山口線の復元とともに、その路線の早急な整備を御願います。	都市計画道路山口線は、平成 27 年度に実施した都市計画道路の見直しにおいて、「計画に担う交通機能は、既存の現道や一般県道有馬山口線、阪神流通センター内の市道、今後整備予定の丸山線などにより一定確保されることとなり、道路ネットワークを形成する上で必要性が低い路線」という検証結果となったことから、説明会等を行った上で、都市計画法に定められた手続きを行い廃止しました。 こうしたことから、当該路線について、再度、都市計画道路として計画決定などを行う予定はありません。	⑤

番号	意見分類	意見の概要	市の考え方	分類
16	都市施設に関する事項	小松地域の側溝・道路整備・電柱の地中化 小松小学校周辺の通学路や住宅地には、住宅がひしめき合っており、古い道路が多く、歩道は凸凹、車道も狭く、側溝は土砂が溜まり草木が生え不衛生である。災害時の側溝の詰まりは致命傷となりうる上に通学路の凸凹・車道の狭さは事故の要因のひとつとなる。ついては、安全で安心な通学路・災害時の通路確保等の観点から道路・側溝の整備の実施及び電柱の地中化をしていただきたいです。	舗装や側溝の修繕、改修等については、職員によるパトロールや市民の皆さまからの要望・通報に基づき、現地調査のうえ対応を検討しています。 通学路の安全対策については、教育委員会、道路管理者、警察、学校、PTA、地域の関係者等が参加する、通学路合同点検を小学校区ごとに定期的に行い、安全対策の必要な箇所についての共通認識を持ち、可能な対策を実施しています。 電柱の地中化（無電柱化）については、整備コストが非常に高く、工期も長くなるなどの課題があることから、市の財政状況等も踏まえ、緊急輸送道路等の防災上の重要な路線や主要な駅周辺などにおいて事業の実施を検討しています。	⑤
17	都市施設に関する事項	中津浜線の過剰、強剪定、一つには信号が見えないとの苦情対応と考える。交通行政、道路課問題か、埼玉大学に該当研究者がいると思うが、信号機を低くすれば問題解決の可能性が高い。目線が下がれば、新聞でも話題の小さな道での事故も減らせるのではないか？経験することだが、夕がた信号機のない交差点で横切ろうとした際、対向車がきつき一端停止しているにも関わらず、目の前を猛スピードで走り抜ける車が多い。よく見ると視線が固定し、真つすぐ2ブロック前の信号をみて、窓から横断者に注意を向ける様子が見られない。	通行の安全性を確保するため、道路構造令（道路法に基づく政令）により、道路には建築限界が定められており、車道の上方には路面から4.5m以上の空間を確保しなければなりません。このため、標識や信号機などの高さは、舗装の修繕などに対する余裕を50cm考え、5.0mが標準として設置されています。	⑤
18	都市施設に関する事項	公園の管理について 公園を増やされていく計画と受け取っていますが、既存の公園の管理（定期的な清掃・治安管理等）や、公園周辺環境を一体で考えた計画を考えていただきたいと考えています。子供や世帯数に対して圧倒的に公園数が足りていない（結果として、市外へ活動が流出）ことも課題と思いますが、不衛生と感じさせる公園や、その公園で「遊ぼう」「少し休んで行こう」と思わせるような仕掛けの少ない公園が多い（とくに西宮市南部住民の目線では）と感じています。	公園などの都市施設については、新たな施設を整備するだけでなく、既存の施設を適切に維持管理することや社会情勢の変化を踏まえた機能向上を図ることは重要であると考えています。 都市計画マスタープランの骨子案においては、都市づくりの今後の方向性として「良好な都市環境を維持するため都市施設の維持や機能向上を進める」とし、それらに関する取組を進めていく方針です。	②
19	都市施設に関する事項	甲東小学校区にボール遊びのできる大きな公園があると嬉しいです。	新設公園の整備については、現在、市内で公園が不足している地域で優先的に検討を進めています。 いただきましたご意見は、公園の新設・リニューアルの際の参考とさせていただきます。	④
20	都市施設に関する事項	今後の公共空間の整備・活用において重要なもの 公園の維持、整備で特にトイレは身体が不自由な人でも使えるようにしてほしい。	公園のトイレについては、バリアフリー化に対応した改修に取り組んでおり、今後もこれを進めていきます。	④

番号	意見分類	意見の概要	市の考え方	分類
21	都市施設に関する事項	インフラはPPPせず行政が担う。 →とりわけ上下水道は重要なインフラなので、民間委託しない。儲かる、儲からないの判断は困るし、価格の不安定につながる。	本市においては、現時点で、上下水道の運営権の民間委託の予定はありません。	⑤
22	都市施設に関する事項	合併処理浄化槽への取り組み→新設の公共施設やマンションには合併処理浄化槽を設置してもらう。	本市の行政区域内人口に対する公共下水道の普及率は99%となっており、市内で発生するほとんどのし尿および生活雑排水は合併浄化槽を設けることなく、公共下水道に接続され、下水浄化センターで適切な水質管理のもと、処理しています。 下水道の計画区域外（山間部など）においては、合併浄化槽を設置することとなっています。	⑤
23	都市施設に関する事項	老朽化している甲陵中学校の建替え、もしくは長寿命化工事を希望します。	学校施設の建替えや改修については、長期的な視点による改修計画を定めた「西宮市学校施設長寿命化計画」に基づき、計画的に進めています。	④
24	都市施設に関する事項	子ども関連の公共施設が高齢者施設へ転換できるようにする。 ただし、小学校の災害時井戸は残す。	学校施設については、将来的な児童・生徒数の減少を見越して、他施設との複合化についても検討を行う方針としています。 市内24箇所の小学校にある避難所井戸については、今後も適切に維持管理を行います。	⑤
25	都市施設に関する事項	現在 借りている駐車場が高速道路建設予定地となりトラックを移動しなければなりません。西宮浜・鳴尾浜近辺では中々駐車場が見つかりません。空いている土地もなく駐車場もなく。 リゾ鳴尾浜等大きな商業施設等使用していない施設を大型駐車場として利用出来ないのでしょうか？ 物流センターが集まっている地区では駐車場に困っている会社が多いと思います。是非少しでも検討していただけたらと思います。都市計画としての意見とは全く違う内容になる事かと思えます。 しかしながら 切羽詰まっている状況で少しでも意見を聞いていただきたい思いで書きました。 宜しくお願い致します。	名神湾岸連絡線の整備にあたり、西宮浜などでは、移転を余儀なくされる事業所が多くあり、各事業所が現在の操業を円滑に継続していく上で代替地の提供は、地元の声をお聴きしながら真摯に対応していく必要があると考えています。 このため、引き続き国・県と協働し、適切な代替地の確保について検討していきます。	⑤
26	市街地整備に関する事項	阪神武庫川駅および駅周辺の再開発に関する提案 1 甲子園駅や鳴尾武庫川女子大学前駅がよいモデルケースになるかと思うので、住民や患者さん、医療従事者などの利便性を踏まえた大規模な再開発を希望する。2 1 を達成するために、産学官連携を積極的に取り入れ（阪神電車、兵庫医科大学、西宮市、兵庫県）、一体となってまちづくりを行ってはどうか。甲子園駅や鳴尾武庫川女子大学前駅のほか、武庫川団地前駅周辺でも再開発が進められている中で、武庫川駅周辺のみ取り残されている印象がある。3 駅構内に売店が設	阪神武庫川駅周辺では、過去に土地区画整理事業が実施されており、現在のところ市の再開発事業の計画実施の予定はありません。なお、兵庫医大は災害拠点病院として指定されていることから、これまでに都市計画制度などの諸制度を機動的に運用することで、施設の更新などが行われています。引き続き、災害拠点病院としての機能の維持・向上に向けた取組について検討していきます。	⑤

番号	意見分類	意見の概要	市の考え方	分類
		<p>置されているが、規模が小さく営業時間も限られている。武庫川駅西口（西宮市側）前には、薬局以外の商業施設がなく、帰宅前に立ち寄れる店は、駅構内または兵庫医科大学病院内のコンビニエンスストアに限定される。しかし、コロナ禍で病院内のコンビニエンスストアへは入店がしにくい。現状、駅から徒歩7～8分の店舗まで買い物をすることになる。以上、武庫川駅周辺はまだ人口増が望める地域と思われますし、さらに病院の利用促進を踏まえ、ぜひご検討をお願いいたします。</p>		
27	市街地整備に関する事項	<p>阪神武庫川駅の駅舎・駅前空間の整備</p> <p>阪神武庫川駅の西改札口は兵庫医科大学等の医療従事者・薬剤師並びに患者、武庫川女子大学学生並びに武庫川団地方面への出勤者等で、降車する利用者数が多い。武庫川線利用者と駅周辺のマンション整備がなされ、乗車する利用者数も多く、また病院を利用する高齢者・障がい者等が多く、西改札口の駅内・駅前空間は、利用者数や利用者の特性に適した環境とは言えない。具体的には、下記について意見を提出する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅舎の整備（利用規模に応じた整備及びUD化） ホーム及び通路の拡張・エスカレーターの設置・エレベーターの大阪方面直通化・ホームまでの距離の短縮化・上り坂の解消・西改札口の改札数の増設（現在3機あり乗降者数に対して少ない） ・小松方面に改札整備（朝ダイヤの時間帯は乗車改札が分散する。）。 <ul style="list-style-type: none"> ・駅前空間の整備 西側道路は片側歩道でタクシー乗り場や車道が狭く危険な状況にある。駅前のロータリー設置及び安全な歩行スペースの確保が必要。また駅前にコンビニ等の最低限度の買い物ができる商店は必要 <ul style="list-style-type: none"> ・駐輪場の整備 <p>駅周辺に駐輪場はあるが、土手の上・屋根がない・駅まで遠い等の理由で兵庫医大の来院用駐輪場等を利用する者が後を絶たない。駅に近く、屋根がある等の整備された駐輪場が必要。</p>	<p>本市においては、23か所の鉄道駅があり、都市核であるJR西宮、阪神西宮駅など主要な駅において、優先的に駅前空間の整備・改良を進めており、阪神武庫川駅周辺において、駅前広場等の整備事業の実施の予定はありません。</p> <p>いただきましたご意見は、関係課や鉄道事業者に情報共有のうえ、今後の参考とさせていただきます。</p>	⑤

番号	意見分類	意見の概要	市の考え方	分類
28	市街地整備に関する事項	<p>要約して下記の件を意見します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「都市機能誘導区域」の「地域拠点形成区域」の「拠点」に阪神香櫨園駅を追加すべき ・現計画上で「都市機能誘導区域」の拠点駅から阪神香櫨園駅を外している理由を市民が納得できる説明をするべき ・「地域拠点形成区域」の中で、他の駅に比べ非常に整備が遅れている香櫨園駅南口西側の駅前整備を行うべき ・香櫨園駅南口西側の駅前整備に着手してこなかった理由を市民が納得できる説明をするべき <p>以上</p>	<p>香櫨園駅は、地域核などの位置付けはされておりませんが、立地適正化計画においては、その他拠点としての位置付けを行い、駅周辺部を都市機能誘導区域として設定しています。</p> <p>本市においては、23か所の鉄道駅があり、都市核である JR 西宮、阪神西宮駅など主要な駅において、優先的に駅前空間の整備・改良を進めており、香櫨園駅周辺において、駅前広場等の整備事業の実施の予定はありません。</p> <p>いただきましたご意見は、関係課と情報共有のうえ、今後の参考とさせていただきます。</p>	⑤
29	市街地整備に関する事項	<p>住環境について</p> <p>団地の建て替え工事や再開発の結果として、市外からの転入・生活圏の移動といった変化がここ最近進んでいると感じています。市にとって新しい市民の増加は望ましいことと思いますが、今後の人口減少の傾向に対して、どのような住宅開発が今後必要なのかは慎重に考えていただきたいと感じています。</p> <p>住んでいる人間からすると旧商業地がマンション開発で無くなってしまったり、無秩序に住む場所ばかり増えて行っても、生活の利便性の低下で中長期的には人が離れてしまうのでは意味がないと考えています。これからは転入数という指標のみではなく、そこで暮らし続けたいと思わせるような環境開発をとくに望みたいと考えています。</p>	<p>生活利便施設の立地については、用途地域や商業立地ガイドライン等の土地利用計画により、地域特性に応じた規制・誘導に努めます。</p> <p>また、生活利便施設の立地は人口密度と相関関係にあることから、一定規模の人口密度を維持するために、公共交通を中心としたコンパクトな都市構造を維持する方針としています。</p>	④
30	市街地整備に関する事項	<p>市街地の整備として、西宮北口駅北の西側（今津線を挟んでアクタの反対側）については、何か整備予定があるでしょうか。この場所には文教地区の西宮を表しているのか、多くの塾が存在しています。しかし、昔ながら飲食店も多く賑わっているのはいいのですが、塾帰りの子供をまわりの駐車やお店がらみの車そして住宅地に抜けるタクシーなどの車が相まって、歩くのに非常に気を使います。安全に歩行でき賑わいと緑のある環境になればと思います。</p>	<p>西宮北口駅北西部においては、これまで駅前空間の整備や、津門川の修景整備などを実施してきました。現在のところ、このほかの市の整備予定はありません。</p> <p>都市核における公共空間については、市民・事業者とも連携を図りながら、居心地が良く歩きたくなる空間の維持・形成に努めます。</p>	⑤
31	市街地整備に関する事項	<p>西宮市に夫婦で引っ越してきました。</p> <p>現在は賃貸マンションですが、子どもが産まれて落ち着く頃、できれば2～3年以内には新築戸建を…と検討しています。</p> <p>しかし西宮市は、なかなか分譲地の開発がなく、土地も建売も数が少ないうえに地価が高騰しており、手が出ません。ウッドショックの影響も大きいです。</p> <p>通勤の便から、名塩・山口町は外しています。JR 沿線までバスで…となると、3階建の狭小住宅が多かったり、庭付き物件なんて見たこ</p>	<p>現在、宅地の利用の増進を図る土地区画整理事業が、樋ノ口町にて組合施行により実施されていますが、市の事業として土地区画整理事業等の計画はありません。</p> <p>地域特性や多様なライフスタイルに応じた良好な住宅市街地形成の誘導に今後も努めます。</p>	⑤

番号	意見分類	意見の概要	市の考え方	分類
		とがありません。 近所の新築戸建を見てても、庭も軒も門扉も無い30坪弱の家ばかり…。 古家の方が、よっぽど広くてどっしりしています。 このままだと、他市へ転居するしかないかなとも考えています。 駅までバスで15分以内で通勤できる場所で、戸建分譲地の開発をお願いいたします。 それとも、もう土地が無いのでしょうか…。 今、話題の明石市のエリアも見っていますが、駅まで徒歩圏内でお手頃物件が多く、明石市への転居の方が良いのかなとも考えています。 せっかく西宮市に引っ越してきて慣れてきたので、できれば終の棲家も西宮市で…と願っています。		
32	市街地整備に関する事項	市街地整備について 市営住宅見直し（入居者減）による跡地利用はできるだけ公園等緑化エリアを設けていただきたい。	西宮市営住宅整備・管理計画において、市営住宅としての用途を廃止する土地については、本市の財産として有効な活用方法を検討することとしています。 いただきましたご意見は、関係課と情報共有のうえ、今後の参考とさせていただきます。	⑤
33	市街地整備に関する事項	脱炭素・低炭素が日本国においていかに、困難な状況になるでしょうか。エネルギーは自給自足できるでしょうか。住居は、ZEHかZEBでしか、あり得なくなるのでは…と考えると都市計画を考えて行くべきかなと考えます。	脱炭素社会の実現に向けて、コンパクトな都市構造の維持・誘導、公共交通の利用促進、再生可能エネルギーの導入や省エネルギー化、吸収源としての緑化の維持、ウォークアブルな空間の整備などの都市づくりの施策を検討します。	④
34	安全・安心な都市づくりに関する事項	第5次総合計画について 武庫川による洪水浸水想定では南部市街地の相当なエリアが3メートルもの浸水が予測されています。このような大規模災害に対しての防災・減災対策について2点お願いしたいと思います。 1.例えば武庫川の浚渫工事計画はありますか。武庫川新駅も計画されていると聞きますが、まずは武庫川の安全性評価を踏まえて、極力リスクを最小限に止めるよう何らかの防災計画を立案いただきたいと考えております。 2.阪神・淡路大震災から27年が経過しましたが、当時の経験を有する西宮市では大規模な地震、水害などへの備えには万全を期されていると思います。日頃から防災意識を醸成するためにも、避難計画、被災者への様々な生活支援など、住民が安心できる情報提供をお願いしたいと思います。	武庫川の治水対策については、兵庫県において、武庫川水系河川整備計画に基づき、河床掘削などの対策工事が進められています。 また、災害に対する備えとして、地域防災計画に基づき、災害情報の周知など防災意識の高めるための取組について進めていきます。 都市計画マスタープランにおいては、地域防災計画と連携を図りながら、ハード・ソフト両面での対策を推進することにより、都市の防災・減災対策を引き続き進める方針としています。	④

番号	意見分類	意見の概要	市の考え方	分類
35	安全・安心な都市づくりに関する事項	武庫川の災害対策 近年、日本においてもこれまでになかったゲリラ豪雨などの異常気象が目立ってきている。これまでの増水レベルを想定した災害対策では武庫川も安全とは言えず、日本国内に起きている異常気象からみた対策が必要である。	武庫川の浸水対策については、総合治水対策などのハード対策と災害情報の周知や情報収集・伝達体制の強化などのソフト対策両面での対策を実施することにより、総合的な防災力の向上に努めます。	④
36	安全・安心な都市づくりに関する事項	基本的に自然災害等に対して強い都市としての取り組みを基本に考えてもらいたい。 公園などは防災公園イメージ 道路は防災道路として活用できる(災害復旧車両など十分な道幅) 避難場所の確保	自然災害に備え、緊急輸送道路や避難場所の機能確保など、防災力を高めるための取組は、引き続き行う方針です。	④
37	西宮らしい豊かな都市づくりに関する事項	西宮市は文教住宅都市と宣言しているが、住宅都市つまり阪神間の商工業大都市への通勤者の住む町というイメージが未だ色濃い。西宮は勤め先から寝に帰る町ではなく古くからの文化伝統のある町。文教とは文化・教育を柱とする政策の事であるが、私は教に教養なるものを色濃く与えたい。文化と教養は互いに支え合うもの。市民の教養とは市民が我が街西宮の歴史文化伝統を掘り起こし、知り、教育にも取り入れ、誇りを持ち今も息づきそして将来も楽しめる様に郷土愛を心に培う事だと思う。所謂ハコモノ前提の都市計画とは異なる視点も取り入れたい。ハード面だけでなくソフト面の構築・充実を図って欲しい。 先人の素晴らしき跡に思いを巡らせる場所・空間づくりも都市計画に入れて欲しい。	文教住宅都市のまちづくりを推進するためには、ハード・ソフト両面での施策が必要であると考えております。 いただきましたご意見も踏まえ、西宮らしい豊かな都市づくりについて検討を進めていきます。	④
38	西宮らしい豊かな都市づくりに関する事項	教育環境について 西宮市の特に重要な計画・戦略かと思いますが、政策と都市計画の整合性が感じられませんでした。「文教住宅都市」と掲げられていますが、それが現時点でどのようなことを目指してどのようなことを実施していくのかを具体的にしてもらいたいと感じています。 子供が学ぶ場は学校や図書館、公民館、あるいは民間の塾だけではなく、広く世の中のことを知る・体験できる場をもっと増やしてほしいです。実際にはキッズニア等の市内民間での好事例がある中で、市としても教育支援のレベル・範囲を広げてもらいたいと感じています。 また、西宮市の人口動態について詳細については調べきれず恐縮ですが、他の中堅都市と同様に、高校又は大学までの教育を受けた後の若者の動態については首都圏へ転出傾向にあるのではないかと思慮しています。その後に西宮市に残る世帯は子供が手を離れた親世代であり、「文教住宅都市」を掲げる中で親世代の学び直しの機会も提供でき	本市では、大学の立地を活かしたまちづくりの推進のため、都市計画制度の機動的な運用や、市立小中学校等を都市計画施設に位置づけるなど、文教住宅都市としての都市づくりや教育環境の充実に関する都市計画の取組を行っています。 学び直しの機会については、宮水学園などの取組により、市民の皆さまが“いつでも、どこでも、誰でも”生涯にわたって自由に学び楽しむことができる生涯学習社会の実現をめざしています。	⑤

番号	意見分類	意見の概要	市の考え方	分類
		<p>るような、未来志向の教育施策を都市計画・政策に組み込んでいただきたいです。</p>		
39	西宮らしい豊かな都市づくりに関する事項	<p>取組分野5：西宮らしい豊かな都市づくりに関する提案 「都市計画緑地 隣接住民への支援策 創設」を提案します。 夙川河川敷緑地は長年の公園整備の結果、松が巨木化・高木化している。 高所から松葉が屋根に飛散し、樋を詰まらせるが、西宮市の都市の魅力向上のためにと、自主的に除去するなど協力している。 （ただし協力するとしても、危険を伴う屋根・樋の高所清掃であり、余儀なく清掃業者に自費で依頼しているのが実態。） 公園緑地課は、越境するような枝葉の伐採に応じてはくれるが、そもそも松が成長しすぎており、高所伐採不可で対応できていない。 （強風時は、越境してはなくても高所からの松葉が降り落ちてくるのが実態。） 自然と共生し持続可能な都市づくりという政策を支持する意味で、都市計画緑地隣接住宅に限り1年に1度を限度とする屋根・樋清掃費用補助（支援策の創設）を提案します。 （西宮市シルバー人材センター等と連携・派遣すると地域の活性化にもつながると想定。）</p>	<p>夙川河川敷緑地では、除草清掃を年3回、冬季の清掃を年1回実施しておりますが、巨木化した松が多く毎年大量の松葉が発生しており、地域住民の皆様は落葉清掃のご協力をいただいている状況です。 いただきましたご提案は、ご意見として参考にさせていただきます。</p>	⑤
40	西宮らしい豊かな都市づくりに関する事項	<p>・緑化行政の一本化が必要。 過去十年間、多様な問題、市内景観と緑化、学校、園を中心とした町の緑化（鎮守の森が中心となるような発想）。これに関する博士論文がある（霞が関、文科省にも送った）。教育員会にも送ったが、無反応。折に触れ、市長にもこの考えに沿った一元化の必要性をメッセージしたが無回答。 ・中津浜線、他街路樹の強剪定、枯損問題など原因はそれなりに理由があると思われる。校内、園の植栽もそうだが予算不足、或いは知識不足、啓蒙不足が状況の悪化を促進している。 ・また例えば、北口町のケヤキの街路樹については周囲の市民からも苦情が出るほどの強剪定。当該自治会の住民にたまたま聞くと、住民一人暮らしのお年寄りから、濡れ落葉で、体力もなく落葉掃除が困難でやむなく剪定を依頼している、と。涼しくて好いのにとこの不満も充ちているという。問題の解決に、一人暮らし支援制度などとマッチングさせ 落葉掃除をするアイデアがあるかと思う。申し込みを待つのではなく積極的に活用が可能になる仕組みが必要。</p>	<p>市が管理する施設の除草清掃については、それぞれの施設管理者が行っており、街路樹植樹帯については年3回実施しています。また剪定は、樹木の生育状況を見ながら作業するようにしています。 道路については、良好な状態への維持管理に努めていますが、市が管理する道路は市全域に多数存在するため、全ての道路を常に良好に保つには限界があります。このため、多くの市民に、道路の清掃や除草活動に参加していただきたいと考えており、市民の清掃・除草活動の支援として、平成28年度に「道路清掃活動支援要綱」を制定し、ほうきやゴミ袋など清掃用具を提供しています。 なお、市民の皆様による除草が困難な場合は、現地を確認し、必要に応じて市が行っていますので、ご理解お願いいたします。 清掃活動等に関して、いただきましたご提案は、ご意見として参考にさせていただきます。</p>	⑤

番号	意見分類	意見の概要	市の考え方	分類
41	西宮らしい豊かな都市づくりに関する事項	西宮らしい豊かな都市づくりとありますが具体的に「西宮らしい」とはなんですか。	都市近郊に残された山・川・海などの自然環境、大学などの文教施設、緑豊かで良好な住宅市街地など、文教住宅都市・西宮の基幹となる特徴的な都市空間を指しています。	⑤
42	西宮らしい豊かな都市づくりに関する事項	田畑が目に見えて少なくなってきましたが、生涯学習等（農業学校）で残すことはできないのでしょうか。	都市内の農地については、生産緑地制度の活用により、保全に努めます。 また、市民農園や学童農園等の住民の交流・レクリエーション・学習の場としての農地の活用について、引き続き取組を進めていきます。	④
43	西宮らしい豊かな都市づくりに関する事項	河川浄化・河川敷の整備 河川としては決して綺麗とは言えず、河川敷には今もホームレスの姿がある。市民が安心して利用できる河川敷及び美しい河川として武庫川の河川浄化・河川敷の整備に取り組んでもらいたい。	武庫川河川敷緑地は、本市の水と緑の軸であるとともに、都市計画緑地に指定され保全されています。 今後も、都市近郊の貴重な都市環境空間として、引き続き、維持・保全に努めます。	④
44	西宮らしい豊かな都市づくりに関する事項	人口減少がつづいていて、空き家が増えて、問題になっているのに、西宮市の中でも、多くの木が切られていって、家や、マンションが建っていているのがいやです。 これ以上、木を切らないで、空き家をりようしてほしいです。 西宮市が西宮の木を守ってほしいです。	市全体の人口は減少に転じているものの、世帯数は増加しており、また、地域によっては人口も増加していることから、当面の間は、一定の住宅需要は続くものと考えています。 長期的には人口減少・世帯数減少が見込まれることから、これ以上の市街化区域の拡大は行わないこととし、市街化調整区域などに残されている自然環境は、引き続き保全する方針とします。 また、空き家対策や既存建物の建替え・流通など住宅ストックの有効活用を促進してまいります。	④
45	地域力がはぐくむ都市づくりに関する事項	自治会組織のあり方について。 そもそも、自治会への入会が減少しているところへコロナウイルス感染拡大で自治会活動ができないこともあり、自治会が地域の基盤とはなっていない。高齢化もあり、実際災害時にはどれだけ機能するのかさえ確認されていない。→災害時には避難所での采配など、自治会が主体となって活動せねばならないので、若い住民に災害時だけに出勤してもらえような限定したグループを整えていく必要があると思う。	災害時における地域組織の重要性については、認識しているところです。 いただきましたご意見については、関係課へ情報共有のうえ、今後の市政の参考とさせていただきます。	⑤
46	地域力がはぐくむ都市づくりに関する事項	将来人口推計人口密度の表では、本庁北東に伸びがあり、鳴尾地区に減少が測されています。さらに次の公共空間の利活用については、アンケートにより文化交流施設・広場・グラウンド活用が大幅に少ない。スペース・イベントの充実がなく、さらに状況を改善しなければならない。 私は長期間(保健所の推進委員、公民館の推進員)約20年程ボランティアとして取組み実感しています。鳴尾地区で活動してきました。住民活力も弱く、高齢化の起因と建物も活動しづらいものです。今、新しく変化	本市では、生涯学習推進計画を策定し、地域づくりの拠点としての公民館機能の再構築や地域団体との連携の推進を方針に掲げ取組を進めていくこととしています。 いただきましたご意見については、関係課へ情報共有のうえ、今後の市政の参考とさせていただきます。	⑤

番号	意見分類	意見の概要	市の考え方	分類
		<p>を希望しなければならないと考えました。公民館の出入口をオープンスペースにすべく、若者、さらに家族が利用する為、見える化し、必要な場所・孤独、孤立をなくす居場所、安全安心な所にボランティア活用、街の活力活性するようにポイント利用とか長年街のきれい化に(例えば、清掃 etc)貢献したことで、それに見合うものを透明化して受与することを市長自ら、中心になって考えてと要望します。ボランティアが皆に浸透し、西宮に移住したいと思う楽しいきれいな所に人口増が生まれます。</p>		
47	<p>地域力がはぐくむ都市づくりに関する事項</p>	<p>複雑化する地域課題に対応するために、地域主体のまちづくりを支援する体制づくりにより地域力の向上を図りつつ、課題解決に向けた取り組みを促進されるとのマスタープランに希望を持って拝見しました。我々の住む苦楽園大丸地区は斜面地にあり、土砂災害警戒区域も含まれます。気候変動が大きな災害をもたらしている昨今の災害の状況を見るにつけ、私達の地区は、大きな不安を抱えている地域であることは間違いないという意識のもと、地域コミュニティを強化し、災害に強い安心して末長く住み続けられるまちを目指して、住民一体となって議論を進めています。これまでに、ほとんどの所有者を特定し、空き家についても連絡先などの取りまとめをおこなっております。また、SNSなどを活用しながら地域コミュニティの育成にも取り組んでおります。しかしながら、実際とは、大きく異なる地積測量図やハード面の現実的ではない住民負担の可能性、斜面地域ならではの徒歩移動の少なさなどによるコミュニティの希薄化など多岐にわたる課題を抱えています。そこで、以下について、</p> <p>①どのように考えられており、②都市マスタープランの中でどのように位置づけられるのか教えてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 地域主体の都市づくり活動の支援について、現状の支援策は街並みを美しく保ったり、景観を整えるなどの支援策とコミュニティ交通への支援が主になっているように読めますが、災害に強い協働のまちづくりや空き家の地域での見守りなど、景観や交通以外への住民主体のまちづくりに対する支援について。 ● 多岐にわたる課題を抱える地域について、総合的なまちづくりとして捉え、官民協働のプロジェクトチームの発足や活動支援などについて。 ● 地域コミュニティ醸成のためのICT技術の支援について。 	<p>ご意見のとおり、都市づくりの分野だけでなく、防災や環境など様々な地域課題がありますが、総合計画においては、地域力の向上・地域課題の解決についての取組を掲げており、庁内の横の連携を図りながら、総合的な地域まちづくりの推進に努めます。また、地域の場づくりや人づくりについては、生涯学習推進計画において、地域の課題解決に向けた行動や意識の変容につながる学習の充実、地域の多様な主体の連携、地域づくりをまちづくりに広げる取組等を通じて、生涯学習が地域コミュニティやまちづくりの基盤となる社会の実現を目指すこととしています。</p> <p>都市計画マスタープランにおいては、土地利用規制や道路等の都市基盤施設の整備など、都市づくりに関連する分野を中心に、取組を記載する予定です。</p> <p>なお、地籍整備の予定はありません。</p> <p>いただきましたご意見は、関係課に情報共有のうえ、今後の市政の参考とさせていただきます。</p>	⑤

番号	意見分類	意見の概要	市の考え方	分類
		● 地籍整備の予定について。		
48	その他意見	西宮北口駅の北西エリアは、ここ数年で文教住宅都市西宮らしからぬ環境になっています。ガールズバーのようなものが増え、夕方くらいから客引きの女性がたくさん立っています。その間を電車に乗って塾に通って来る子どもたちが通っている状況です。西宮市のイメージダウンです。数年前までとは明らかに雰囲気が異なっています。都市計画で何らかの規制をお願いします。	西宮北口駅周辺は、本市の都市核として、商業・業務機能の充実を図るエリアとなっています。 客引き行為に対しては、都市計画制度による対応はできません。 いただきましたご意見については、関係課へ情報共有のうえ、今後の市政の参考とさせていただきます。	⑤
49	その他意見	市民への周知、市職員による出前講座の充実 →例えば、市民は水の始点（〇〇浄水場）と終点（〇〇川）を知らずに暮らしている。 カスケード利用をすすめる等の講座を開くことで行政と市民が一体となったSDGsになるのではないかと？	いただきましたご意見については、関係課へ情報共有のうえ、今後の市政の参考とさせていただきます。	⑤
50	その他意見	西宮市の航空写真を見れば実に基幹道路が多いのがわかる。その沿道に生活する人は常に騒音、振動の被害があり、文教住宅都市とは違う側面がある。→せめて、振動計の貸し出しをしてほしい。	いただきましたご意見については、関係課へ情報共有のうえ、今後の市政の参考とさせていただきます。	⑤
51	その他意見	前回の都市マスは、市民参加型で進みましたが、今回はどのように市民参加型になるのか。	総合計画策定にあたり、市民参画を経て本市の都市目標を作成しました。都市計画マスタープランにおいては、総合計画における都市目標やまちづくりの主要課題等を踏まえ、都市づくりの方針や基本構想等を作成する予定です。 また、都市計画マスタープランの策定においては、作成途中の段階に応じて意見募集を行い、併せて、都市計画に対する関心を高めるための広報活動も行うことにより、より多くの市民の皆さまの意見を反映するための手続きを行う予定です。	⑤
52	その他意見	スケジュールが知りたいです。	今回は、骨子案の閲覧・意見募集を行いました。 今後の予定は、骨子案の意見募集結果を踏まえ、素案を作成し、再度、市民の皆さまのご意見をお聴きする予定です。 具体的な日程については、決まり次第ホームページ等で周知する予定です。 素案の意見募集結果を踏まえ作成する最終案については、都市計画審議会において諮問し、公表する予定となっています。	⑤

4. 素案の作成について

素案においては、骨子の都市づくりの方向性を踏まえ、都市づくりの分野ごとの基本方針や取組・施策を記載した基本構想を追加する。

骨子第3章42ページ以降の都市づくりの方向性において記載している主な都市計画に関する方針や取組などについては、素案において基本構想として詳細を取りまとめる予定です。

5. 今後の策定スケジュール（案）

